

第3章 ネットワークの実態の把握と整理

3-1 ネットワークの事例

ここでは、応募団体および既存情報からネットワークの事例を整理する。

応募団体については、支援対象団体のほか、申込書からなにがしかのネットワーク形成の活動やネットワークを活用した活動を行っていると思われる団体を抽出した。支援対象団体は3事例、応募団体のうちなにがしかのネットワーク形成の活動やネットワークを活用した活動を行っていると思われる団体は7事例であり、両者あわせて10事例（応募団体全体の31.3%）である。

地域づくり活動にかかわる既存の全国的ネットワークは多くはないが、文献やインターネットなどの既存情報からも2事例を抽出した。

<事例一覧>

・ A : 支援対象団体 (3 団体)

	団体名	所在地	ネットワークのテーマと活動の概要
1	特定非営利活動法人京町家再生研究会	京都市	町家の再生。2005 年、全国イベントを開催して本格的にネットワーク形成が始まる。
2	ペレットクラブ	京都市	ペレットの活用。2005 年、全国イベントを開催して本格的にネットワーク形成が始まる。
3	特定非営利活動法人まちづくりビジネス支援ネットワーク	島根県松江市	各地の地域づくりリーダーのネットワーク。2006 年よりインターネットによるノウハウの提供を開始。

・ B : 支援対象団体を除いた応募団体 (7 団体)

	応募団体	所在地	ネットワークのテーマと活動の概要
1	特定非営利活動法人 JUON NETWORK	東京都杉並区	過疎地域の廃校再活用。1998 年、ワークショップを開催し、その後は、中心となる団体のサイトから情報発信を行っている。
2	特定非営利活動法人コミュニティビジネスサポートセンター	東京都千代田区	コミュニティビジネスやNPOの中間支援組織のネットワークづくり。広域関東圏コミュニティビジネス推進協議会の活動を中心にネットワークを構築。
3	中心市街地活性化戦略委員会	東京都中央区	自立・戦略的な商店街づくり（政令指定都市の中心商店街のネットワーク）。2006 年、全国イベントを開催。
4	全国路地のまち連絡協議会	東京都新宿区	路地を活かしたまちづくり。2003 年から毎年全国イベントを開催。日ごろはサイトでの情報発信とメーリングリストでの情報交換を実施。
5	特定非営利活動法人コミュニティアート・ふなばし	千葉県船橋市	コミュニティアートによるまちづくり。2003 年から毎年全国イベントを開催。
6	まちかど研究室	島根県松江市	路線バスを中心とした公共交通の利用促進と交通まちづくり。2003 年から毎年全国イベントを開催。
7	全国まちづくりカレッジ運営事務局	沖縄県那覇市	大学によるまちづくりのネットワークづくり。2001 年から毎年全国イベントを開催。事務局設置の必要性から、2005 年、当該団体を設立。

・ C : 既存のネットワーク (2 団体)

	団体名	所在地	ネットワークのテーマと活動の概要
1	特定非営利活動法人全国町並み保存連盟	東京都港区	町並み保存・再生活動。1978 年から毎年全国イベントを開催。住民運動の最初の全国組織。
2	特定非営利活動法人緑の列島ネットワーク	名古屋市	森林保全。各地のブロックや会員と協働でフォーラムや講座を開催。

団体名	特定非営利活動法人京町家再生研究会
所在地	京都府京都市
ホームページ URL	http://www.kyomachiya.net/saisei/
団体の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歴史的・伝統的な町家を市民共有の資産として、今後の京都のまちづくりの中に継承するとともに、町家の中に蓄積されてきた暮らしと建物の様々な知恵や工夫を再評価し、現代に活かす。
団体の活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 町家の継承・再生に関する調査や研究活動を実施。研究費助成を得るなどして、自主事業で行う研究のほか、市からの調査受託事業も行っている。 <ul style="list-style-type: none"> ➤ 次の3団体を設立し、あわせて4団体が連携をとり、「京町家再生ネット」として多角的な活動を行っている。 ➤ 京町家作事組：京町家の修理・修復・再生を実践。職人・技術者の団体。 ➤ 京町家友の会：町家居住者を中心として、京町家の暮らしや文化の継承をめざす団体。 ➤ 京町家情報センター：不動産としての京町家にかかわる専門家（不動産業者）の団体。
ネットワークのテーマ	町家の再生
ネットワークの範囲	全国
ネットワークの参加団体	はこだて「街なか」研究会（函館市）、特定非営利活動法人たいとう歴史都市研究会（東京都）、社団法人金沢職人大学校（金沢市）、古材バンクの会（京都市）、社団法人奈良まちづくりセンター（奈良市）など
ネットワークの実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2005年6月、「全国町家再生交流会」（主催：京町家ネット、京町家再生研究会、京町家作事組、京町家友の会、京町家情報センター 共催：京都市景観まちづくりセンター、京都芸術センター）を開催。全国から、82団体、351人の参加を得る。 ・ 2005年5～6月、「全国町家再生交流会」のプレイベントとして京都市内のギャラリーや町家を会場に、「楽町楽家」を開催（主催：京町家ネット、京町家再生研究会、京町家作事組、京町家友の会、京町家情報センター）。それぞれの会場で、コンサート、演劇、アートパフォーマンス、お茶の会、おばんざい教室、フリーマーケットなどを実施した。

団体名	ペレットクラブ
所在地	京都府京都市
ホームページ URL	http://www.pelletclub.jp/
団体の目的	<ul style="list-style-type: none"> 木質ペレット燃料の生産と流通、消費をつなぐエネルギー・システム「ペレット・システム」を構築し、木質ペレット燃料を社会に適切に普及・定着させる。
団体の活動内容	<ul style="list-style-type: none"> 森林の活用による自然環境の保全や地域産業の創出、都市・山村の交流、住環境の改善を図るため、以下のような活動を展開している。 <ul style="list-style-type: none"> インターネットやニュース・レター、メールマガジン等を通じた情報発信 テクニカル・レポート等による技術的な情報提供 シンポジウムや展示会等による普及啓発 木質ペレット燃料と燃焼機器の規格化・認証 全国的なペレット・ネットワークの形成と交流
ネットワークのテーマ	木質ペレットの普及
ネットワークの範囲	全国
ネットワークの参加団体	特定非営利活動法人森のライフスタイル研究所（長野県）、伊那谷森林バイオマス利用研究会（長野県）、薪く炭く KYOTO（京都市）、特定非営利活動法人森のバイオマス研究会（広島県庄原市）など
ネットワークの実績	<ul style="list-style-type: none"> 2001年5月、「ペレットクラブ準備会」が発足。5月に第1回の、10月に第2回の「ペレット利用に関する連続ワークショップ」を開催。 2004年3月、シンポジウム「カミング・ペレット！」を開催し、準備会からクラブの正式発足（4月）へ移行。 2005年4月～5月、シンポジウム「バイオマス・イニシアチブ 2005」を東京、長野、山形、高知で開催。 2006年2月、「全国ペレット交流会」（於：京都市）を開催。全国から28団体の参加を得る。

A-3

団体名	特定非営利活動法人まちづくりビジネス支援ネットワーク
所在地	島根県松江市
ホームページ URL	
団体の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小都市・中山間地域の地域資源と土地固有の技術や知恵を活用し、現代社会に通じるサービス（商品）を開発・提供し、民主導での地域づくりをめざす「まちづくりビジネス」の普及・振興を図る。
団体の活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全国の地域づくりのリーダー的存在の人たちが主体となって設立された団体で、以下のような活動を展開している。 <ul style="list-style-type: none"> ➤ 全国の地域づくりの実践者や活動に関心を持っている人たちの交流および情報交換の場を創出 ➤ 「まちづくりビジネス」の起業・経営支援、人材育成、普及・啓発など
ネットワークのテーマ	各地の地域づくりリーダーのネットワーク
ネットワークの範囲	全国
ネットワークの参加団体	全国地域づくりリーダー約 30 名
ネットワークの実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2005 年および 2006 年、「まちづくり・ビジネスフォーラム」を開催。

団体名	特定非営利活動法人 JUON NETWORK
所在地	東京都杉並区
ホームページ URL	http://juon.univcoop.or.jp/
団体の目的	<ul style="list-style-type: none"> 都市と農村の人々をネットワークで結ぶことにより、環境の保全・改良、地方文化の発掘・普及、過疎過密の問題の解決に取り組み、自立・共助の志で新しい価値観と生活様式を創造する。
団体の活動内容	<ul style="list-style-type: none"> JUON NETWORK は設立の母体である大学生協が過疎地域に住む人々と出会うことによって生まれ、そのきっかけのひとつは、10 数年前に、早稲田大学生協が埼玉県神泉村の廃校になった小学校を学生のセミナーハウスとして再生したことである。その後、新潟県佐渡島、富山県利賀村にも廃校を利用したセミナーハウスがオープンした。 活動内容は森林の保全に関わるものを中心となっている。森林環境教育プログラム「森林の楽校^{がっこう}」は、森づくり体験や自然散策、地元の人々との交流を通じて、森林・環境問題について学ぶプログラムで、全国5ヶ所（群馬、埼玉、新潟、兵庫、徳島）で実施している。「森林ボランティア青年リーダー養成講座」は、森林ボランティアの若い「リーダー」を増やすためのプログラムである。
ネットワークのテーマ	過疎地域の廃校再活用
ネットワークの範囲	全国
ネットワークの参加団体	樹庵・神泉（埼玉県神泉村）、鳥越文庫（新潟県佐渡市）Star Forest 利賀（富山県利賀村）、ラーニングアーバー横蔵（岐阜県揖斐川町）、四万十楽舎（高知県四万十市）
ネットワークの実績	<ul style="list-style-type: none"> 1998年、富山県利賀村（現南砺市）において廃校活用のワークショップ「廃校を問い・過疎を考え・未来をデザインする」を開催し、約100名の参加者を得る。 その後は、JUON NETWORK のサイトを活用し、各地の情報を発信しており、また、JUON NETWORK が開催する「森林の楽校^{がっこう}」や「森林ボランティア青年リーダー養成講座」の会場として活用されている。

団体名	特定非営利活動法人コミュニティビジネスサポートセンター
所在地	東京都千代田区
ホームページ URL	http://www.cb-s.net/
団体の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市民、自治体、NPOなどのコミュニティを基盤とした、地域やまちの活性化を支援しながら、地域コミュニティと共同し、それぞれの地域に合ったまちの活性化をめざす。
団体の活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ コミュニティビジネス（CB）に起業や連携に関わる支援サービスの提供を行っており、以下のようなメニューを実施している。 <ul style="list-style-type: none"> ➤ 個別サポートプラン：これからCBを創業する人を対象とした個別サポート ➤ 地域活性化事業プログラム：地域のCB団体、支援機関と連携し、地域の活性化させるための仕掛けづくりを目的とするもので、事業の構築からシステムづくりまでの事業のサポート・コンサルティング ➤ 「CB支援サイト」の運営：CBの起業、活性化のためのさまざまな支援を提供するシステム ➤ 講座の企画・実施：CBやNPOに関する講演・講座などの企画・実施
ネットワークのテーマ	コミュニティビジネスやNPOの中間支援組織のネットワークづくり
ネットワークの範囲	全国
ネットワークの参加団体	葛飾区NPO連携協議会（東京都葛飾区）、としまNPO推進協議会（東京都豊島区）、たてやまコミュニティビジネス研究会（千葉県館山市）、あおもりコミュニティビジネスサポートセンター（青森市）など
ネットワークの実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ コミュニティビジネスサポートセンターが中心となったネットワークはないが、これまでに以下の2つを中心にネットワークを構築している。 <ul style="list-style-type: none"> ➤ 広域関東圏コミュニティビジネス推進協議会への参加：1都10県の地域のコミュニティビジネスの支援を行っているプラットフォーム。会員間の情報交流と地域版コミュニティビジネス推進協議会の創出を目的に活動している。会員は、自治体、会議所、NPOなど300団体であるが、コミュニティビジネスサポートセンターは幹事（現在代表幹事）として参加している。 ➤ 各地のコミュニティビジネスの中間支援組織の指導：各地の中間支援組織の指導を通して、ネットワークを構築している。

団体名	中心市街地活性化戦略委員会
所在地	東京都中央区
ホームページ URL	http://j-a-m.seesaa.net/
団体の目的	<ul style="list-style-type: none"> 7大政令指定都市の中心商店街の連携によるまちづくりベンチャーづくり（自立・戦略的な商店街づくり）の推進部隊として活動を展開する。
団体の活動内容	<ul style="list-style-type: none"> 7大政令指定都市（札幌市、仙台市、東京都、名古屋市、大阪市、広島市、福岡市）の中心商店街の事務局の理事長や事務局長を、青年部長などが集まり、団体が設立された（2005年1月）。 メーリングリスの運営やフォーラムの開催を通して、情報交流を行っている。
ネットワークのテーマ	自立・戦略的な商店街づくり
ネットワークの範囲	全国の政令指定都市
ネットワークの参加団体	狸小路商店街振興組合（札幌市）、一番町四丁目商店街振興組合（仙台市）、商店街振興組合原宿表参道櫛会様（東京都）、栄町商店街振興組合（名古屋市）、心斎橋商店街振興組合（大阪市）、新天町商店街商業協同組合（福岡市）など
ネットワークの実績	<ul style="list-style-type: none"> 2005年、抱える課題の共有化と課題解決のための戦略の構築を図るため、メーリングリストを中心に活動を開始。 2006年3月、キックオフフォーラム「地域再生の担い手が語る21世紀の新たなまちづくり戦略」を開催。政令指定都市の先進商店街のほか、NPO、企業、学識経験者が参加し、情報交換を行った。

団体名	全国路地のまち連絡協議会
所在地	東京都新宿区
ホームページ URL	http://www.mmjp.or.jp/jsurp/roji/roji.htm
団体の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・ わが国の都市の原風景のひとつでもある路地を、美しい豊かな生活空間として次世代に継承していくための研究と実践活動などの啓発普及活動を推進していく。
団体の活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全国の路地のあるまちづくりに取り組む活動団体や関連の研究者、企業、行政、市民が互いに立場を越えて自由に交流し、研究し、協働して各地の個性豊かで魅力的なまちづくりを進めるための活動を展開しており、主に以下の活動を行っている。 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 路地のあるまちづくり活動団体、研究者などの情報交換および交流（メーリングリストの運営、ホームページの運営） ➢ 「全国路地サミット」のほか、セミナーや見学会などの開催 ➢ 路地に関する調査研究、路地の再生に向けた政策提言などの実施
ネットワークのテーマ	路地を活かしたまちづくり
ネットワークの範囲	全国
ネットワークの参加団体	特定非営利活動法人粋なまちづくり倶楽部（東京都新宿区）、向島学会（東京都墨田区）、十條あすみの会（東京都北区）、空堀地区 HOPE ゾーン協議会（大阪市中央区）、英国王立園芸協会日本支部（全国対象：東京都豊島区）など
ネットワークの実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2003年より、年1回、参加団体の活動地域にて「全国路地サミット」を開催している。第1回（2003年）は東京都北区十条にて、第2回（2004年）は大阪市中央区空堀にて、第3回（2005年）は東京都新宿区神楽坂にて開催。 ・ 2004年9月にメーリングリストを開設、参加団体同士の情報交換を行っている。 ・ 2004年12月にホームページを開設、路地を活かしたまちづくりに関わる様々な情報を発信している。 ・ 2004年12月に「路地園芸推進プロジェクト」をスタートし、景観構成要素として大きな役割を果たす路地の鉢植えや見越しの松などの路地の園芸の推進を図っている（特定非営利活動法人日本都市計画家協会との協働）。

団体名	特定非営利活動法人コミュニティアート・ふなばし
所在地	千葉県船橋市
ホームページURL	http://www.communityart.net/
団体の目的	<ul style="list-style-type: none"> 創造的なコミュニティアート活動の企画・運営に関する事業を行い、アートプロジェクトを通じてコミュニティが抱える諸問題を緩衝・解決する。
団体の活動内容	<ul style="list-style-type: none"> 1997年より、アーティストと市民のコラボレーションによるコミュニティアートプロジェクトを企画・運営している。 1997年より、知的障害を持つ子どもを中心メンバーとした即興ダンスワークショップ「中嶋夏ダンスワーク」を開始し、2002年まで毎月1回開催。 2002年より、10代・20代の若者が企画・運営するコミュニティカフェ・プロジェクト「cafe-3-」を開始し、毎月開催。 そのほか、多様なイベントを開催するとともに、地域で活動する環境や福祉、まちづくり活動を行うNPOとの交流を進めている。
ネットワークのテーマ	コミュニティアートによるまちづくり
ネットワークの範囲	全国
ネットワークの参加団体	特定非営利活動法人サッポロ・アーティスト・イン・レジデンス（北海道札幌市）、特定非営利活動法人芸術資源開発機構（東京都杉並区）、アートNPOリンク（京都市）、特定非営利活動法人アーツアポリア大阪（大阪市）など
ネットワークの実績	<ul style="list-style-type: none"> 2003年より、毎年「全国アートNPOフォーラム」を開催し、アートNPOの社会的ポジションの確立をめざしながら社会に向けての提言を行っている。第1回（2003年）は神戸市、第2回（2004年）は札幌市、第3回（2005年）は船橋市で開催。

団体名	まちかど研究室
所在地	島根県松江市
ホームページ URL	http://www.docodemo-bus.net/
団体の目的	<ul style="list-style-type: none"> 島根大学の学生や市民から構成される市民団体。まちを快適に、便利に、魅力的にしていくための様々な活動に取り組んでいる。 現在は、公共交通の利用促進・改善の活動に取り組んでいる。
団体の活動内容	<ul style="list-style-type: none"> 2001年より、年2回、松江市内のすべてのバス会社の路線や時刻を掲載した「どこでもバスマップ」を製作・発行。ほかにも、他地域のバスマップの製作やバスベンチの設置などの活動を行っている。 独立行政法人情報通信研究機構と連携して運営している「どこでもバスネット」(http://www.docodemo-bus.net/)では、ユーザーの視点に立って、松江圏域の公共バスの路線や時刻、バスに関する様々な情報を発信している。
ネットワークのテーマ	路線バスを中心とした公共交通の利用促進と交通まちづくり
ネットワークの範囲	全国
ネットワークの参加団体	路面電車と都市の未来を考える会(RACDA)(岡山市)、特定非営利活動法人ふくい路面電車とまちづくりの会(ROBAの会)(福井市)、広島LRT研究会(広島市)、岐阜未来研究団(岐阜市)など
ネットワークの実績	<ul style="list-style-type: none"> 2003年より、公共交通の利便性向上、活性化を目的に、バスマップの制作・発行をしている市民団体が一同に会する「全国バスマップサミット」を開催している。 第1回の岡山市(2003年)では、全国の団体の顔合わせを行い、第2回の福井市(2004年)では、バスマップのつくり方やつくる上での工夫などのアイデアの共有を図り、第3回の松江市(2005年)では、バスマップから見える「市民団体と行政の協働」などについての議論を行った。

団体名	全国まちづくりカレッジ運営事務局
所在地	沖縄県那覇市
ホームページ URL	なし
団体の目的	<ul style="list-style-type: none"> 各地でまちづくりを行っている大学同士の発表と交流の場を創出し、学生の意欲向上と各大学の活動に広がりを持たせる目的で開催している「まちづくりカレッジ」を発展させる。
団体の活動内容	<ul style="list-style-type: none"> 「まちづくりカレッジ」に参加している団体の連絡調整、ネットワークとしての情報発信などを行うことを目的に設立（2005年11月）。
ネットワークのテーマ	大学によるまちづくりのネットワークづくり
ネットワークの範囲	全国
ネットワークの参加団体	岐阜大学富樫ゼミ（岐阜市）、名古屋学院大学まちづくり NPO 人コミュ倶楽部（名古屋市）、関西学院大学片寄ゼミ（兵庫県三田市）、佐賀大学学生まちづくり広場「ぼるん」（佐賀市）、沖縄大学沖縄地域環境アセンブリー（那覇市）など
ネットワークの実績	<ul style="list-style-type: none"> 2001年に「まちづくりカレッジ」の前身である、学生によるまちづくりをテーマとした交流イベントが開催されて以来、毎年、「まちづくりカレッジ」を開催。2005年、「EXPO まちカレ&まちカレ in 瀬戸」が開催され、これまでにイベントとして5回、のべ26校が参加してきた。 これまでは、開催地の大学が主催するかたちで実施してきたが、参加する大学のネットワークとしての事務局がなく、情報発信などにおいて不便があったため、2005年、その事務局として全国まちづくりカレッジ運営事務局が設立された。

団体名	特定非営利活動法人全国町並み保存連盟
所在地	東京都港区
ホームページ URL	http://www1.odn.ne.jp/~cah24160/matinami.index.html
団体の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の文化と歴史的町並みなどの保存・再生運動を通じて、歴史・文化環境の向上と地域の活性化に寄与する。
団体の活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 町並み活動団体との交流・親睦および支援、国・自治体などとの交流および政策提言、情報の収集整備・発信、調査・研究などを実施しているが、具体的には、毎年開催の「全国町並みゼミ」と年2回開催の「幹事会」（会員団体から選出される幹事によって構成）の2つが活動の中心になっている。 <ul style="list-style-type: none"> ➤ 全国町並みゼミは、1978年に第1回を開催して以来、2005年まで28回開催している。全国の会員団体が持ち回りで準備し、同連盟が支援を行っている。 ➤ 幹事会は、全国町並みゼミと同様、全国の会員団体が持ち回りで準備し、開催している。本来同連盟の活動方針を検討する場だが、各地の町並み活動団体との交流も実施している。
ネットワークのテーマ	町並み保存・再生活動
ネットワークの範囲	全国
ネットワークの参加団体	1974年、妻籠を愛する会、今井町を保存する会、有松まちづくりの会の3団体でスタート。現在、全国の町並み保存・再生活動を行っている団体62団体のほか、個人会員が約300名が参加（2005年12月現在）。
ネットワークの実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1974年に住民運動の最初の全国組織として創立以来、町並みの保存・活用を通じた、単なる住民運動ではない文化活動を続けている。 ・ 1978年からは開催されている「全国町並みゼミ」では、各地の町並み保存・活用運動や歴史を生かしたまちづくりについての情報交換や事例の検証を行うとともに、全国の会員が親しく交流している。 ・ 1999年には、連盟設立25周年記念として書籍『新・町並み時代』（学芸出版社）を発刊し、それまでの活動で培われた市民主体の運動を出発点に、伝建制度から近代建築の保存・活用、住民憲章、商店街活性化、生涯学習、NPOまで、そのさまざまな手法と実践を紹介している。

団体名	特定非営利活動法人緑の列島ネットワーク
所在地	愛知県名古屋市
ホームページ URL	http://www.green-arch.or.jp/
団体の目的	<ul style="list-style-type: none"> 林業の育成、山林の保全、国産材の普及、国産材による家づくりの支援に関する事業を行い、わが国の山林を保護し、国土を保全して、美しい山および木と森の文化を子孫に残すことに寄与する。
団体の活動内容	<ul style="list-style-type: none"> 1999年に発足した「近くの山の木で家をつくる運動」に賛同した個人や団体のネットワーク組織。会員の交流・知識向上などを目的としたフォーラムや講座を開催している。
ネットワークのテーマ	森林保全
ネットワークの範囲	全国
ネットワークの参加団体	会員は、正会員は個人、賛助会員は法人、公共団体など。3名以上で「地域グループ」を構成して活動することができ、現在、地域グループは24団体（2006年3月現在）。
ネットワークの実績	<ul style="list-style-type: none"> フォーラムは、北海道・東北、関東、中部、関西、四国・中国・九州の各ブロックが主催し、緑の列島ネットワークが共催という体制で実施。森林・木材・木造建築関係者による講演、パネルディスカッション、見学会などのほか、各ブロックの活動報告や意見交換を行うネットワーク会議などを行っている。 講座は、会員と緑の列島ネットワークの共催で実施。木材の生産地である山、木の性質やその流通などについて、住まい手に国産材による安全で丈夫で健康的な木の家の良さを伝える人材育成を行っている。